

平成24年度  
国土政策関係研究支援事業  
報告書

平成25年3月

国土交通省 国土政策局

## 要旨

本事業は、国土計画・国土政策等に関する調査・研究を行う若手研究者に対して、研究課題を広く公募し、提出された研究企画案を審査の上、優秀な研究企画案に対し研究委託形式により研究助成を行うものである。

本事業は平成19年度より始まり、今年で6回目となる。平成24年度は以下の内容で実施した。

助成対象者は、一定の条件を満たす年齢40歳未満（平成24年4月1日現在）の者1名又はグループ（年齢制限はグループ全員に適用）とし、日本国内で研究している者で、所属機関に関する条件を満たせば国籍は問わない。また、助成の対象となる研究は、国土計画・国土政策等に関する研究とし、政策上の重要課題をテーマにした「指定課題」を設け、該当する研究提案を優先的に選定した。

今年度は、以下の4つを指定課題とし、募集した。

### 指定課題1 『防災・減災の観点に立った国土・地域政策』：

「災害に強い国土づくり」、「防災・減災の観点に立ったまちづくり」等を題材とした研究

### 指定課題2 『低炭素・循環型の地域づくりを考慮した国土・地域政策』：

「低炭素交通」、「低炭素まちづくり」、「未利用・再生可能エネルギーの活用」等を題材とした研究

### 指定課題3 『多様な主体の連携による国土・地域政策』：

「民間の知恵・人材・資金を活用する取組」、「グローバル化」、「広域的地域連携」等を題材とした研究

### 指定課題4 『地域活性化に資する国土・地域政策』：

「地域活性化」、「地域の担い手育成」、「地域活性化支援の場や仕組み(プラットフォーム)」、「産業振興」等を題材とした研究

1件当たりの助成金は概ね200万円程度を限度とし、総額1,600万円とした。

公募については、平成24年5月11日に研究課題の募集を開始し、記者発表を行うと同時に、国土交通省及び事務局ホームページ、公募チラシ、電子メールなどにより大学、研究機関、NPO法人等に所属している若手研究者に向けて告知を行い、平成24年6月12日に締め切った。

その結果、応募総数は39件あり、選考委員会（委員長：東京大学大学院教授 大西隆氏）において、研究課題の選考を行った。審議の結果、10件が採択された。研究期間は、平成24年7月23日から平成25年3月15日とし、助成対象者の所属機関と事務局の間で研究助成（委託）に関する契約を締結して行われた。

研究者は、9月と1月に研究の進捗状況の報告を求められた。また、平成24年11月28日に中間報告会が開催され、平成25年3月4日に研究成果報告会（一般公開）が開催された。この2回の報告会では、委員による講評があり、研究を深め、政策提言へと高めるために必要な有

益な示唆がなされた。研究成果報告書は、平成25年3月15日に提出された。

また、次年度以降、より効果的な事業とするため内容の見直しを検討するにあたり、過年度に助成の対象となった研究者へのフォローアップ調査を実施した。その結果、過去の研究成果は、多くの学会や法人等で発表されており、新たに別の法人と共同研究を進めている、別の研究費補助を受けて研究を深化させている等、様々な形ですでに利用されていたり、今後利用される予定であることがわかった。

なお、今年度採択された10件の研究課題は次のとおりである。（敬称略、50音順）

#### 指定課題1 『防災・減災の観点に立った国土・地域政策』：

- 秋山 祐樹（東京大学） ほか  
「国土スケールにおける大規模地震への災害対応力の定量的評価と我が国の防災政策への提案」
- 石原 与四郎（福岡大学）  
「地盤の3次元モデルの構築とその共有に関する研究－地盤・防災情報のユビキタス化－」
- 越山 健治（関西大学）  
「災害後の住宅再建を見据えた都市空間の強靱性評価に関する研究－住宅再建過程に影響を及ぼす空間配置・量の事例分析より－」
- 宋 軒（東京大学） ほか  
「160万人の長期GPS移動データに基づく災害避難行動の分析とシミュレーションモデル構築に関する研究」

#### 指定課題2 『低炭素・循環型の地域づくりを考慮した国土・地域政策』：

（該当なし）

#### 指定課題3 『多様な主体の連携による国土・地域政策』：

- 菊池 慶之（（財）日本不動産研究所） ほか  
「不動産証券化の展開が都市空間の再編に及ぼす影響に関する研究」

#### 指定課題4 『地域活性化に資する国土・地域政策』：

- 菊地 吉信（福井大学）  
「地方都市における高齢者所有住宅の空き室を活用した新たな下宿事業の提案」
- 倉知 徹（関西大学）  
「地域の多主体連携による新たなプラットフォーム構築と地域活動の実施が成立する条件と課題」
- 但馬 英知（（株）タジマラボ） ほか  
「震災復興の観点からみた水産都市と周辺漁業集落における史的形成構造と地域政策のあり方」
- 谷山 智彦（（株）野村総合研究所） ほか  
「テキストマイニングによる国土政策評価手法の研究－社会的心理状態を可視化する「地域センチメント指標」の開発－」
- 福島 綾子（九州大学）  
「宗教遺産の近代的営繕と動態保全の仕組みに関する研究－地域の特性としての宗教遺産継承を目指して－」